

「海のあるスイス」先進地調査団等の主な成果について

平成 29 年 8 月 15 日

フランス・パリ (8/8)

(1) 「世界で最も美しい湾クラブ」理事長等との面談及び昼食懇談

- ・湾クラブのメイラ理事長、ボダード事務局長等と面談し、2019 年における湾クラブ総会の候補地としてアピールしたところ、富山湾の活用・保全の取組みや、総会誘致に向けた熱意を高く評価しており、先頃開催した委員会において、2019 年総会の富山県開催を内定したとの説明があった。なお、メイラ理事長から、来年 4 月に開催されるフランス総会での富山県のプレゼンテーションを経て正式に決定することから、石井知事に総会への出席要請があった。
- ・石井知事から、一昨年 3 月に北陸新幹線が開業し、観光振興、まちづくり、企業立地などの面で大きな成果が生まれていること、天皇皇后両陛下のご臨席をいただいたの「全国豊かな海づくり大会」の開催等が高い評価をいただいたこともあり、2019 年総会の富山県開催の内定はありがたいが、来年 4 月のフランス総会にできれば出席し、プレゼンテーションを行う方向で検討するので、その際には、是非正式に決定していただきたいと強く要請しました。

(2) 伝統工芸品セレクトショップ「メゾン・ワ」視察

- ・塩川氏から、①伝統工芸品を海外で展開するためには、販売市場のニーズや生活様式を踏まえた商品開発を行うことが必要であること、②高岡市の伝統工芸品はシンプルなデザインで実用性も高く、また製品の背後にある歴史や精神性なども感じられフランス人からの評価が非常に高い、との説明を受けた。石井知事から、富山県の工芸品を多く扱っていただいていることに謝意を表するとともに、県として、総合デザインセンターの充実強化による新商品開発の促進、中小企業の販路開拓の支援等を積極的に推進したいと考えている。塩川氏には、今後とも県内の伝統工芸品等の PR や販路開拓、新商品開発等にお力添えをいただきたい旨、お願いしました。

スイス・バーゼル (8/9)

(1) バーゼル大学副学長等との懇談

- ・石井知事から、県立大学とバーゼル大学との新たな学術交流協定について提案し、今後、協定締結に向けて実務者協議を進めることで合意した。
- ・現行の富山大学大学院理工学研究部とバーゼル大学理学部との協定の延長・充実については、石井知事から、遠藤学長ともあらかじめ相談しており、県としてもその継続・充実に努力する旨をお伝えしました。
- ・来年開催する「富山・バーゼルジョイントシンポジウム」へのバーゼル大学からの教授、研究者等の参加や、同シンポジウムにあわせた、学生向けの講義や「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムによる首都圏等の学生を対象とした実践的

なプログラムへの参加について要請し、バーゼル大学からはフヴィラー教授を窓口
に検討したいとの回答を得た。

(2) バーゼル・シュタット州及びバーゼル・ラントシャフト州首脳との懇談

- ・石井知事から、県薬事研究所への「未来創薬開発支援分析センター（仮称）」の開設や
県立大学の医薬品工学科の設置、医薬品の研究開発をテーマとする新たな産学官のコン
ソーシアムに対する国の財政支援の仕組みの構築の方向性等について説明の上、2009
年に締結した交流協定書等の充実等について提案した。両州の首脳からは「交流をより
充実して続けたい」との回答があり、具体的には実務者同士で検討し進めることとなっ
た。

スイス・ツェルマット（8/10～11）

(1) ツェルマット観光局長及びブルガーゲマインデ書記との意見交換

- ・ツェルマット観光局のルッゲン局長、ブルガーゲマインデのクレメンツ書記との意見交
換を行った。
- ・両氏から、ツェルマット観光の現状について説明を受けるとともに、①ツェルマットを
訪れる目的別のマーケティング手法や、②観光業界のデジタル化への対応の必要性と対
策（イー・フィットネスなど）、③マーケティングに必要な情報収集の手法、④地域が
一体となった観光地域づくりの仕組み、⑤観光人材の育成の取組みなどについて理解を
深めることができた。

(2) ツェルマット視察

- ・ツェルマットの観光の現状を把握するとともに、ツェルマットが世界中から選ばれる山
岳観光地となっている理由について理解を深めるため、ゴルナーグラート鉄道や、クル
ムホテル、リッフェルアルプホテル、マッターホルン・グレーシャー・パラダイスなど
の視察を行った。
- ・3,000mの高地にありながら高級志向の観光客を満足させるクオリティの高いホテル、
ショッピングエリアやレストランなど悪天候でも楽しむことができる施設、ピクトグラ
ムなどの外国人対応などの状況について理解を深めることができた。
- ・クルムホテルにおける昼食時に、ゴルナーグラート鉄道のマネジメントを担当している
ファマッター氏にご同席いただき、黒部峡谷鉄道の小橋社長も交えて意見交換を行っ
たところ、将来的な両鉄道の連携についても話が及び、石井知事から、来日の機会などに
是非一度富山に来て欲しいとお話したところ、今後、検討したいとのことであった。

(3) ツェルマット主催の歓迎レセプション

- ・ツェルマット市内視察の後、ツェルマット村のビネハウザー村長、ブルガーゲマインデ
のビネー会長及びクレメンツ書記、ツェルマット観光局のルッゲン局長による歓迎レセ
プションが開催された。
- ・レセプション会場において、石井知事から「世界トップレベルの観光地であるツェルマ

ットの取組みを学ばせていただくとともに、末永く交流を続けさせていただきたい」と述べたところ、ツェルマット側からも「今回の交流をきっかけに、今後とも、お互いの経験を共有し、意見交換や交流を続けていきたい」とのご挨拶をいただいた。

フランス・シャモニー、イタリア・クールマイユール (8/11~12)

(1) モンテ・ビアンコ・ロープウェイ社長との夕食懇談会

- ・スカイウェイ・モンテ・ビアンコの視察に先立ち、運営会社であるモンテ・ビアンコ・ロープウェイのフランチェスコニ社長らと夕食懇談を行った。
- ・フランチェスコニ社長から、①スカイウェイ・モンテ・ビアンコの利用状況や建設までの経過、②環境への配慮や安全性確保のために導入されている最先端の技術や工夫、③利用者の満足度を高めるためのターミナル施設の状況などについて説明をいただき、「立山黒部」の世界ブランド化の一環として検討を進めているロープウェイ建設に関して、非常に有意義な懇談機会をいただくことができた。

(2) スカイウェイ・モンテ・ビアンコ視察

- ・シャモニー（フランス）とクールマイユール（イタリア）を結ぶロープウェイや、各ターミナル駅の状況等について視察を行った。
- ・ヨーロッパ最高峰の世界中の人々を魅了するアルプス山岳観光の魅力を体感するとともに、モンテ・ビアンコ・ロープウェイ社の社員の案内により、ターミナル駅に設置された映画館・レストラン・水晶展示室・ショップ・子供向けの遊び場など、利用者の満足度を高めるための施設を見学した。
- ・また、全面ガラス張りで360°回転し眺望が良く、揺れも少ないなど、フランチェスコニ社長のご発言のとおり、最先端の技術を駆使したロープウェイであることを実感するとともに、同社の計らいにより、山麓駅の動力室を見学することができ、技術面での参考となった。